

令和元年度 第1回・第2回 市政モエタ一会議報告書

新山根送水場・配水池



下水処理場

新居浜市 企画部 秘書広報課

令和元年 11 月

(事業の目的)

新居浜市では、市政に関する市民の皆さんの意見をお聴きし、市政運営の参考とするために、市政モニター制度を設けています。

今回の市政モニター会議は、参加希望いただきました市政モニターの皆さんに、市の施設見学や職員からの説明を通して市政への関心を高めていただくことを目的に実施しました。

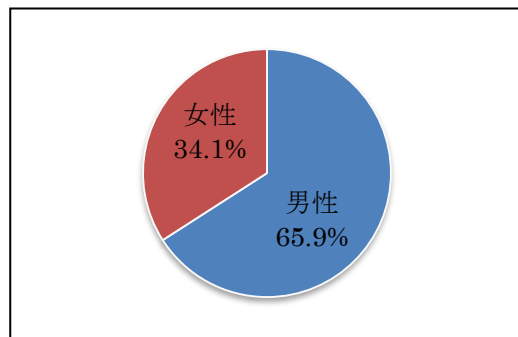
(日 程)

第1回会議	令和元年11月5日(火)	13:30 ~ 16:30
第2回会議	平成元年11月6日(水)	8:45 ~ 11:45

(参加者の状況)

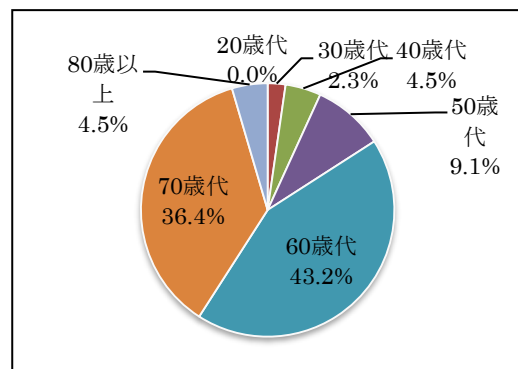
<性別>

	人数	割合
男性	29人	65.9%
女性	15人	34.1%
合計	44人	100.0%



<年代別>

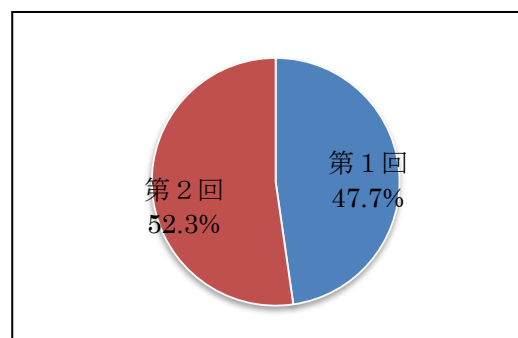
年代	人数	割合
20歳代	0人	0.0%
30歳代	1人	2.3%
40歳代	2人	4.5%
50歳代	4人	9.1%
60歳代	19人	43.2%
70歳代	16人	36.4%
80歳以上	2人	4.5%
合計	44人	100.0%



※年齢は平成31年4月1日時点

<参加日別>

参加日	人数	割合
第1回	21人	47.7%
第2回	23人	52.3%
合計	44人	100.0%



※数値は、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。

(見学先及び内容)

①新居浜市水道水質検査センター

(1) 水道水質検査センターより説明 「おいしい水が届くまで」

水道水質検査センター職員より、水循環の仕組みや水道水源、水質基準等について説明を受け、100%地下水を水源とする新居浜市の水道水が「厚生労働省おいしい水研究会」が示すおいしい水の要件にも該当する、安全でおいしい水であることを、利き水体験（4種の水の飲み比べ）も交えて学習しました。



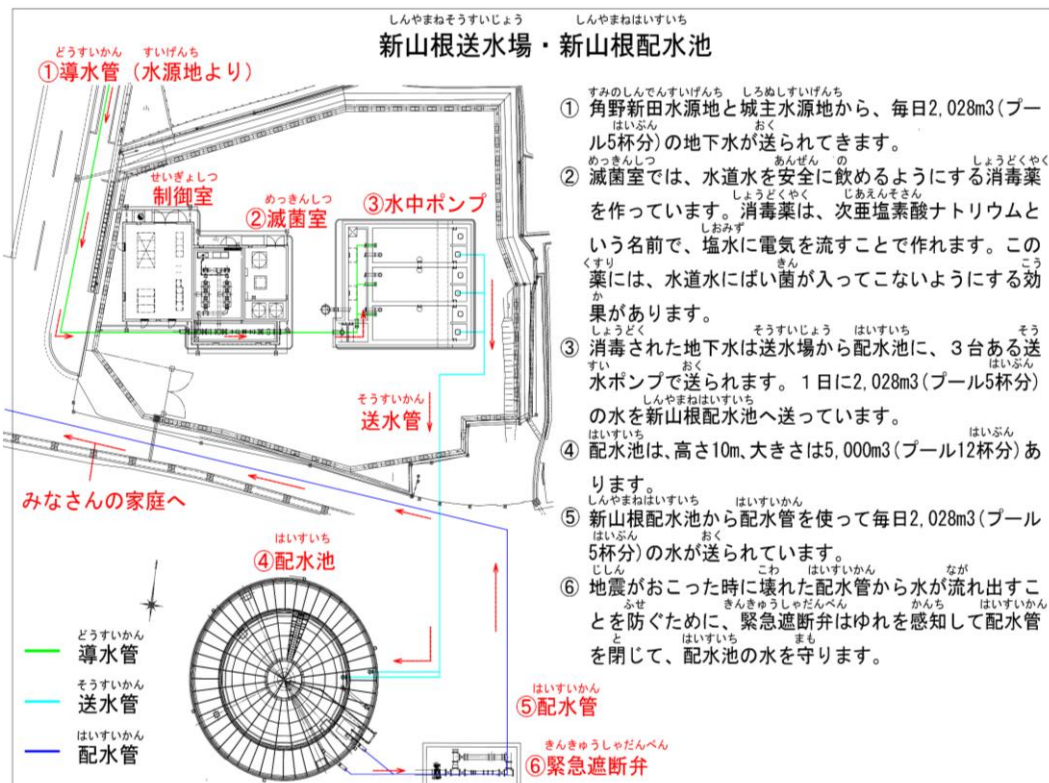
水道水質検査センター



利き水体験

(2) 水源管理課より説明 「水道施設見学の前に！」

水源管理課職員より、施設見学の事前学習として、新居浜市の配水系統や給水施設の概要(水源、送水場、配水池等)、見学先である新山根送水場・配水池の施設内容等について説明を受けました。



②新山根送水場・新山根配水池

平成 28 年 1 月より供用開始した新山根送水場にて、管理棟（制御室・滅菌室）、水中ポンプなどの主要設備を見学、水源管理課職員の説明を受けました。

また、新山根送水場から見える新山根配水池の外観を見学しました。



管理棟（制御室）



③下水処理場

下水処理場長より、新居浜市の公共下水道及び施設の概要、汚水処理の仕組み、生じた汚泥等の有効利用等について説明を受けました。また、汚れを綺麗にする微生物とそのメカニズムについて、顕微鏡画像を見ながら学習しました。



微生物について説明

【下水処理場の概要】

- ❖ 昭和 55 年 3 月 供用開始
- ❖ 敷地面積：149,767 m² 処理能力：51,400 m³/日
- ❖ 平成 30 年 3 月 し尿・浄化槽汚泥共同処理を位置付け

【新居浜市の公共下水道について】

- ❖ 分流式（汚水及び雨水をそれぞれ別の管きよで排除する方式）
- ❖ 公共下水道普及率（H30）：新居浜市 63.2%（愛媛県 54.6%、全国 79.3%）

その後、下水処理場の施設見学として、最初沈殿池や反応タンク、最終沈殿池などの主要な設備を見学しました。



下水はこうしてきれいになる

① 最初沈殿池（さいしよちんでんち）

下水処理場にきた汚れた水は、地下12mから、沈砂池という池に入ります。汚れた水の中にある、大きなゴミ（木の枝・ペットボトルなど）はスクリーンと言うくしの歯のようなもので取り除きます。大きなゴミを取り除いた水は、ポンプでくみ上げられて、最初の池へ送られます。水の中に溶けている、目に見えないくらい小さな砂や泥をゆっくりと沈める池です。物が水の下に沈む事を沈殿と言うので、下水処理場で最初に汚れた物を沈める池の名前を最初沈殿池と言います。

② 反応タンク（はんのうたんく）

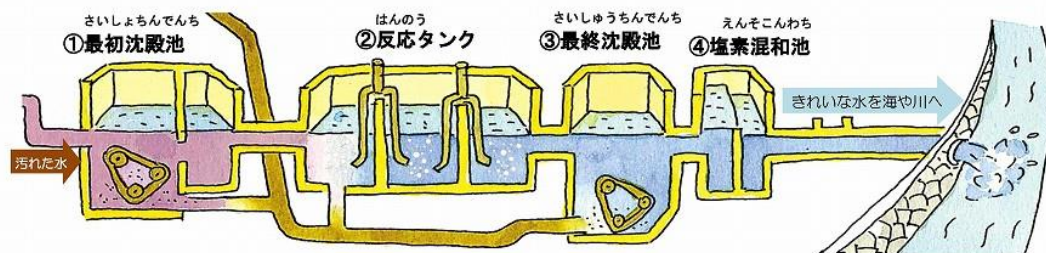
次の池は反応タンクと言います。反応タンクの水は、最初沈殿池の水より茶色く濁っています。汚れた水に活性汚泥と言う、微生物がたくさん入っている泥を混ぜるからです。また、池がブクブクと泡立っています。このブクブクの正体は空気です。微生物も生き物なので、空気が無ければ死んでしまいます。反応タンクでは微生物たちが7～8時間ほどかけて水中の汚れを食べてくれます。下水処理場では薬品などを使わずに、微生物が水をきれいしてくれます。

③ 最終沈殿池（さいしゅうちんでんち）

反応タンクを出た水は、最終沈殿池と言う池に入ります。この池では汚れをいっぱい食べて重くなった微生物が、池の底に沈みます。沈んだ微生物の一部は反応タンクへ戻り、もう一度、水をきれいしてくれます。残りの微生物はセメントの材料として再利用されます。いわゆるリサイクルです。この時点で汚れはほとんど取り除かれて、水はかなり透明になりました。

④ 塩素混和池（えんそこんわち）

最後の池の名前は、塩素混和池と言います。最終沈殿池の水には、まだ大腸菌と言う“ばい菌”が生きています。そのため、塩素という薬品で消毒して海に流します。下水処理場の水をきれいにするときに、この塩素混和池だけ薬品を使います。



(参加者アンケート)

市政モニター会議に参加いただいたモニターの皆さんに、感想やご意見をうかがい、今後の参考とするためにアンケートを実施しました。

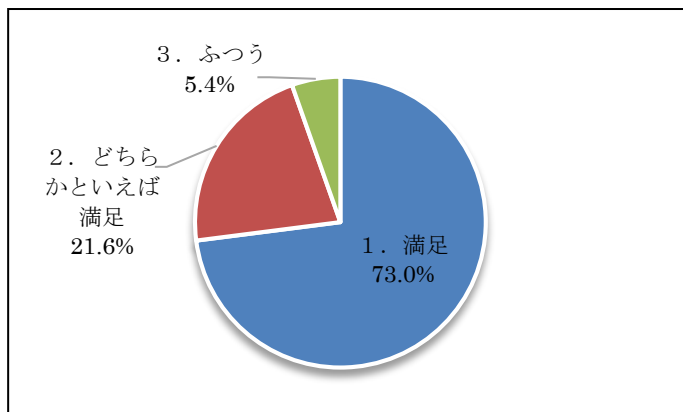
<アンケート概要>

調査対象者	第1回・第2回市政モニター会議参加者 44人
調査期間	会議実施日～令和元年11月20日(水)
調査方法	会議実施時にアンケート用紙を配布し、後日郵送で提出
回収数(率)	37人(84.1%)

<調査結果>

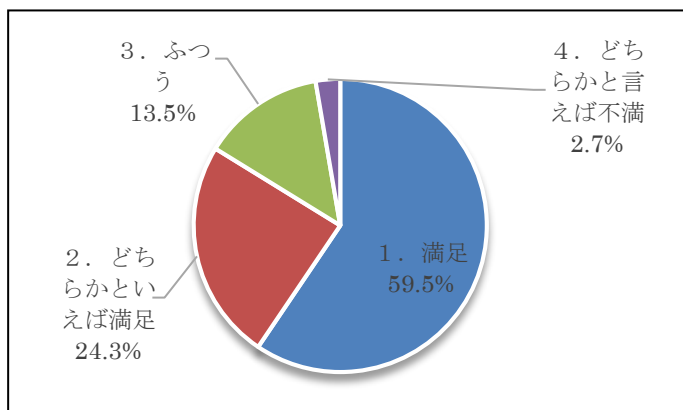
Q 1. 今回の施設見学テーマや見学先の設定についてどう思いましたか。5段階の満足度でお答えください。(1つ選択)

1. 満足	27人
2. どちらかといえば満足	8人
3. ふつう	2人
4. どちらかといえば不満	0人
5. 不満	0人
合計	37人



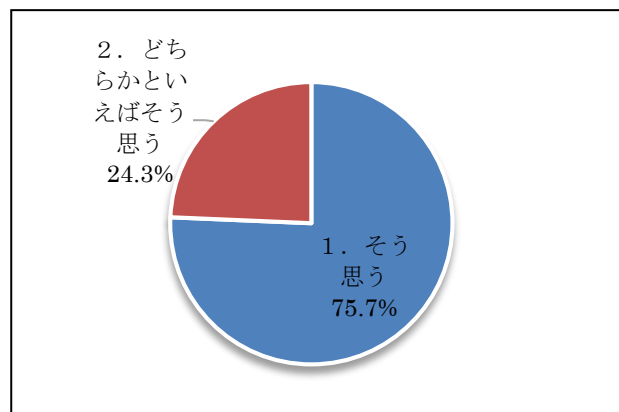
Q 2. 今回の施設見学の内容や職員からの説明はいかがでしたか。5段階の満足度でお答えください。(1つ選択)

1. 満足	22人
2. どちらかといえば満足	9人
3. ふつう	5人
4. どちらかといえば不満	1人
5. 不満	0人
合計	37人



Q 3. 今回の施設見学に参加して、市の取り組みに対する理解や関心が高くなったと思いますか。(1つ選択)

1. そう思う	28人
2. どちらかといえばそう思う	9人
3. どちらかといえばそう思わない	0人
4. そう思わない	0人
合計	37人



Q 4. 今回の施設見学会に参加しての感想やご意見を自由に記入してください。(自由記入)

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介します。

【上水道施設見学について】

- ・新居浜市の水道について、おいしい水であること、3つの給水区（川西、上部、川東）など知ることができ、大変有意義だった。
- ・新居浜の水については、自信を持って他市にも誇れると思う。もう少し、他市との比較の話が欲しかった。例えば、西条は「うちぬき」を宣伝しているが、新居浜も負けていないことを大きく言ってほしい。
- ・新居浜市の水道水は高品質で大変おいしい水だと認識できました。
- ・利き水体験が大変良かった。
- ・新居浜の水はおいしいと以前から思っておりましたが、4種類の水を試飲できたのは良い経験でした。
- ・新居浜の水は安全でおいしいことがわかりました。工場が多いので水がおいしいというイメージではなかったのですが、説明を聞いて納得しました。もっと広報するべきです。イベントで利き水会をしたらいいと思います。
- ・新居浜の水道水が美味で当たり前とっていました。土地と施設職員のおかげであったことを改めて感謝します。
- ・他の市町村に比べて断水や給水制限もなくおいしい水を飲める幸せを感じました。
- ・新居浜市の水道は全て地下水だということを初めて知りました。水は西条の方が良いと聞いていましたが、新居浜の水道水もとても安全で安心して美味しい水なのだということがわかり、誇らしく思います。
- ・新居浜の水道水のおいしさを、今後、家族や知人・友人にも広げて行こうと思いました。「龍神の水」のボトルを見かけたことがありますが、市販されればぜひ購入したいと思います。
- ・これからは防災用にペットボトルの水を準備しますが、飲み水は水道水を使います。都会に住んでいる時は浄水器が必要でしたが、その必要がないことを自慢したいと思います。
- ・新居浜市の水道料金は県下でもトップクラスの安さであるとのこと、このことは単なる一朝一夕ではなく、適切な改修やメンテナンスなどを計画的に実施した集積であり、今回の見学でその一端を伺うことができましたが、市民への周知（知ってもらうこと）こそが大事だと思います。
- ・新居浜市の水道水が安全で、おいしいことを市民に広めるには、施設見学が大きな役割を担うと思う。
- ・新居浜の水道水が良質だということが良くわかってよかった。
- ・給水場所や送水場と配水池の場所がわかり、また系統図によって水の流れもよくわかった。それに市職員からの解説が加わり、より一層勉強になった。
- ・本市の水道施設は他市に比べて優れていることがわかりました。

【下水道施設見学について】

- ・下水処理の大変さがわかった。
- ・下水処理場は思っていたより臭いがなくて、驚きました。大変勉強になりました。
- ・汚い水がだんだん綺麗になり、海へ返されていることを、お話と現場で理解し、微生物と職員さんに感謝です。
- ・現在、居住している地域も公共下水道の工事が進んでおり、興味ある見学会でした。
- ・下水道の工事も進んでいる中、家庭からの下水道工事をしていない家庭が多いのではないのでしょうか。
- ・下水処理場では雨水の処理についても聞けたら良かったです。
- ・最終処分場も行ったことがないので、見たかった。(下水処理場は) 広く大きい施設ですが、全て活用されてはいないのでしょうか。

【その他、会議全般の感想や運営・進行などについて】

- ・市の施設に行く機会などほとんどなかったのが、今回の参加はたいへん良かった。他の施設にも行ってみたいと思った。
- ・普段見られない場所を直に見られたことはよかったです。清掃が行き届き、清潔感を感じたが、新山根送水場の外壁にはクモの巣が多くて少々気になった。
- ・有意義な日でした。説明がとてもわかりやすく、良かったです。水道水が100%地下水を利用していることや、下水処理場の場所、初めて知りました。知らない人、結構いると思います。
- ・色々と工夫をされたり、考えられていることを聞くことができ、自然の力も合わさって、今の安心安全なシステムが作られているのがわかった。興味深い内容だったので、少し時間が足りなかったように思う。
- ・わかりやすい説明で良かった。利き水やクイズ等を家族に話し、水道水はもちろん、下水処理など関心を皆で持てて良かったです。時間的にもう少し余裕があればなお良かったのですが…。参加者の意識の高さに驚いています。
- ・新居浜市の水道について知らないことが多く、この見学会でより深く知ることができたのはありがたいです。ただ、施設ごとの時間配分が計画通りにならなかったことが残念です。
- ・もう少し下水処理場のことを詳しく説明してほしい。時間が短すぎたのではないですか。
- ・二施設とも、質問の時間が不足しました。もっと色々と質問したかったです。
- ・今回の場合、時間的に上水道と下水道を別々にしても良かった。
- ・事前に簡単な資料を配布し、質問をあらかじめ選定して時間内に終了するように、多い質問に対しては報告書で報告してほしい。
- ・時間に余裕がほしい。質問の時間が長い。
- ・今回に限ったことではないが、研修次第があるのだから、時間内に質問も含めてまとまるようにしてほしい。内容的に次の行程に大幅に遅れるようであれば、次の行程を中止して、次回に進めた方がよいのでは。あまり予定の中身を抜きすぎると、折角の話が伝わらなくなる気がします。
- ・時間が足りなくなるのはわかっているので、スケジュール通り進めてください。質問が少なくなるよう説明してほしい。
- ・上水道見学はわかりやすく満足でしたが、下水道は時間不足もあったためか、少し理解できないままでした。せっかく生活に役立つ見学ができたのに、質問の時間もとれず、残念でした。
- ・説明がとてもわかりやすく、質問にも丁寧に答えてくださり、とても良かった。ただ、節水や汚水をなるべく流さない等、環境問題に触れないのはかえって不自然だった。管轄外は関係ないという姿勢なのか。何のための会議なのか疑問に思った。
- ・職員の説明が少し、わかりにくかった。

→（事務局より）

この度の施設見学会では、事務局の設定した見学先行程に時間的な余裕がなく、当日は、質疑応答の時間や後半の下水処理場の見学時間を十分にとることができませんでした。参加者の皆さまに、残念な思いをさせていただきましたこと、深くお詫び申し上げます。

次回からは余裕をもって施設見学・学習が行えるよう、皆さまの意見を参考に、見学先の設定・時間配分に留意してまいります。

Q 5. 来年度以降の施設見学会で、設定したら良いと思うテーマや見学先があれば記入してください。(自由記入)

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介します。

- ・ 市役所の隣に建設中の総合防災拠点施設 (※同意見多数)
- ・ 新しくできる防災センターの見学、市の災害予防の取り組み
- ・ 今、関心の高い「防災施設」関連の見学会
- ・ 消防署
- ・ 市役所本館、あかがねミュージアム
- ・ 東平地区、大島地区
- ・ 新居浜の歴史館など
- ・ 別子山、別子銅山に関する施設
- ・ 文化財保存、住友山田社宅
- ・ ごみ焼却場
- ・ 給食センター
- ・ 時代を紡ぐ匠の技、マイスターを抱える、育てている事業など
- ・ 磯浦の斎場、黒島の工場試験所
- ・ 公共の福祉施設
- ・ 高齢化による医療現場の問題
- ・ 市議会
- ・ 議会制度をわかりやすく説明する企画
- ・ 下水道処理場 (もう一度)
- ・ 知っている、わかっているようで意外と知らないのが現実。よって、何でも計画があればできる限り参加したい。

～ご協力、ありがとうございました～



©NPO 法人新居浜まぢゅり隊